

報道関係者 各位

令和8年3月19日
宗像市秘書政策課



産官学の共創でつくる宗像の未来 「宗像市産官学共感プラットフォーム」成果報告会

宗像市は3月23日、グローバルアリーナにて「宗像市産官学共感プラットフォーム」の令和7年度の成果報告会を開催します。

本市では「楽しく生きる力をつける」まちづくりの実現に向け、企業・教育機関等と連携し、地域課題の解決を図るプロジェクトを推進してきました。

当日は、参画企業によるトライアル事業について成果発表をおこない、産官学の枠組みを超えた新たな価値創出と地域活性化の可能性を広く発信します。



《「道の駅むなかた」で実施した親子向けイベントの様子》



《日本航空と実施した地域貢献プロジェクトに参加した学生》

【宗像市産官学共感プラットフォーム成果報告会概要】

日時：3月23日(月) 14:00~16:30

場所：グローバルアリーナ 武道館(宗像市吉留46-1)

出席者：企業、団体、教育機関関係者 約50人

内容：今年度トライアル事業として実施したプロジェクトの成果発表

事例紹介企業：KBCグループホールディングス(株)、(株)サニックスホールディングス、
(株)JALスカイ九州、西日本新聞社

【背景】

自治体単独での解決が困難な課題が増加する中、宗像市では外部の技術・アイデア・ノウハウを能動的に取り込む「産官学共感プラットフォーム」を推進しています。

本事業の最大の特徴は、単なるビジネスマッチングに留まらず、地域の未来に対する「共感」を軸に異業種が共創する点にあります。今回の報告会でトライアル事業の事例を共有し、企業間のさらなる交流や新たな協働を加速させること目指します。

【問い合わせ先】※ご取材いただける場合は、事前にご連絡ください

宗像市秘書政策課 担当：一番ヶ瀬、西山 TEL：0940-36-1055